



学校だより

浮舟

u k i f u n e

令和7年3月12日(水)
第43号

〒979-2157
南相馬市小高区吉名字中坪1
TEL 0244-44-2023

祝 令和6年度卒業証書授与式

明日、令和7年3月13日、令和6年度第53回南相馬市立小高中学校卒業証書授与式が挙行されます。卒業を迎える13名の皆さん、おめでとうございます。卒業式式辞を通して改めて、お祝いと保護者の方々への感謝の気持ちを伝えたいと思います。

卒業生の皆さんが入学した当時は、まだ新型コロナウイルス感染症が第5類に引き下げられる前ということもあり、感染症対策を継続しつつ、元の教育活動を取り戻すという不安定な状況での中学校生活を送っていたものと思われます。そのような中、13名の卒業生の皆さんはとても素直であり、そして何よりも自分の良い所を伸ばそうと一生懸命努力してきました。保護者の皆様にはぜひとも明日挙行されます式にご列席いただき、立派に成長したお子さんの晴れ姿を目に焼き付けていただきたいと思います。

式に先立ち、予行練習で生徒たちに伝えたお話を以下に紹介します。今の自分に不満を抱えたまま卒業することなく、今の自分にあるもの、備わっているものに目を向けることで、新たなステージでの活躍を期待しています。



こんな話があります。

小さな漁船がメキシコの小さな島に着いた。

休暇で港にいたアメリカ人の観光客が、船から下りてきたメキシコ人漁師に尋ねた。

「大漁だね。どれくらい海に出ていたの？」

「昼の数時間だけだよ」と漁師は答えた。

返答に驚いたアメリカ人は「もっと長い時間、漁をして、いっぱい捕まえればいいじゃないか」と提案すると、漁師は「なんでそんな必要があるのさ。これで十分食べていけるよ」と答えた。

「それなら、漁をしていない時間は、何をしているんだい？」とアメリカ人。

漁師は「ゆっくり起きて、家族と時間を過ごすんだ。夜は友人とバーで飲んで、ギターを弾きながら歌うのさ」と説明した。

アメリカ人は信じられないと、首を振った。

「私は、ビジネススクールで経営学を学んだ。君はもっと漁をして魚をいっぱい捕れば、大きな船が買えるよ。大きな船ならばもっと多くの魚が捕れる。会社だって設立できるよ」「それにはどれくらいの期間がかかるんだい？」と漁師。

「20年か25年ぐらいかな。そして会社の経営がうまくいけば、上場して株を売って、億万長者にもなれるさ」とアメリカ人は胸を張った。

「へえ、その後は？」とメキシコ人は不思議そうに聞いた。

「成功したら引退して、海の近くの小さな島でゆっくり暮らせばいい。

朝はゆっくり起きて、子どもと遊んだり、ちょっと釣りをしたり。

夜は友人とバーで飲みながら、楽しい時間を過ごせるよ」

漁師は言った。

「もう、私はそうしているじゃないか」

もしかすると、皆さんの中には自分の周りには楽しいことなど何もない、あるいは高校入学など、環境が変わればもっと仲の良い友達や自分を分かってくれる先生に出会えるはず、と思っている人がいるかもしれません。でも周りをよく見渡してください。そこに当たり前前のようにあることで気づいていない幸せはありませんか。特に卒業を迎える3年生だからこそ、そのことに気づく絶好のチャンスです。そして、もしけんかや仲違いをして気まずい関係の友達がいるのなら、どうかその人を許し、自分から声をかけてあげてください。お互いのわだかまりをどこかで清算することで、次のステージで新たな一歩を気持ちよく踏み出すことができると信じています。



義務教育9年間で明日で終わりを迎えます。4月からの高校生活は自立に向けた助走となる3年間となります。自分への甘え、家庭への甘え、学校への甘えを少しずつ減らしていけるよう陰ながら応援しています。がんばってください！